

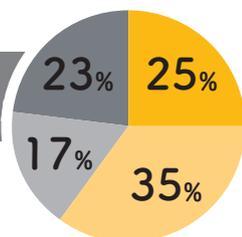
Web市民公開講座 視聴者アンケート結果

■ 当事者だけでなく、病気のことをあまり知らない方も視聴されました。

肺高血圧症患者さんとそのご家族、膠原病や肝疾患などが原因となって今後肺高血圧症が起こる可能性がある方などにどまらず、病気のことをあまり知らなくても、興味から視聴された方も多くいました。当事者以外の方の参加があったことは、この病気が一般にも知られるようになってきたためとも考えられます。

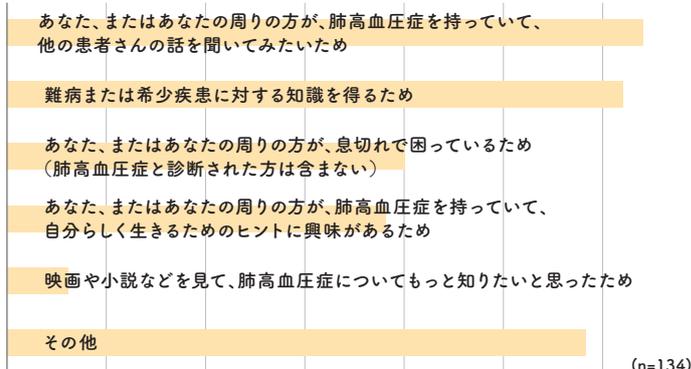
「肺高血圧症」という病気について
ご存じですか？

- ほとんど知らない
- 少し知っている
- だいたい知っている
- よく知っている



(n=146)

参加のきっかけ(単一回答)



(n=134)

■ 9割以上の方が「理解が深まったものがある」と感じています。

本日のセミナーに参加して、肺高血圧症について理解が深まったものを教えてください。(複数回答可) (n=45)

肺高血圧症は、心臓から肺へ血液を送る血管(肺動脈)の血圧が高くなる病気である。ことがわかった 80.0%

肺高血圧症の主な症状は、労作時息切れ(家事や歩行など体を動かした時に息苦しくなる)、倦怠感(体がだるい)、胸痛などである。ことがわかった 82.2%

肺高血圧症は、膠原病や先天性心疾患、肝疾患などの病気に関連して発症することがある。ことがわかった 66.7%

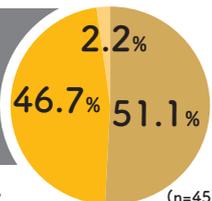
早期発見のためには、ご自身の体調を振り返り、気のせいや歳のせいにならず、早めに医師に相談することが大切である。ことがわかった 80.0%

膠原病に伴う肺動脈性肺高血圧症の主な診療科は、膠原病内科と循環器内科である。ことがわかった 62.2%

視聴された方の9割以上が、何かしらの理解が深まったと回答しました。また、ご自身や身近な方の息切れに注意を向ける意識がもてたとも回答しています。医師や患者さんなど、当事者のお話に豊富にふれられたことが、理解につながったのかもしれない。

息切れを感じたら「主治医に相談しよう」または「息切れで苦しんでいる人がいたら、受診を進めてみよう」と思いましたか？

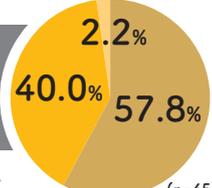
- 強くそう思った
- そう思った
- どちらでもない



(n=45)

「肺高血圧症」という病気がもっと多くの人に知ってもらえたらいいと思いますか？

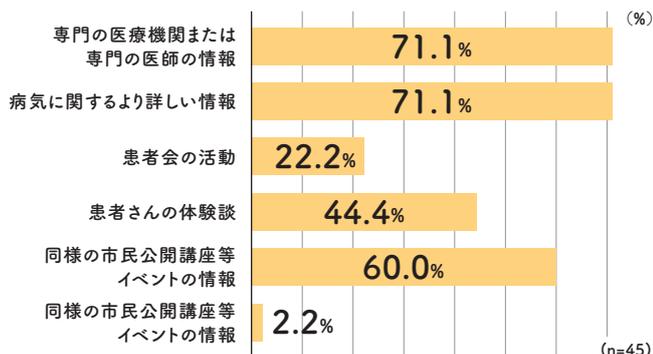
- 強くそう思った
- そう思った
- どちらでもない



(n=45)

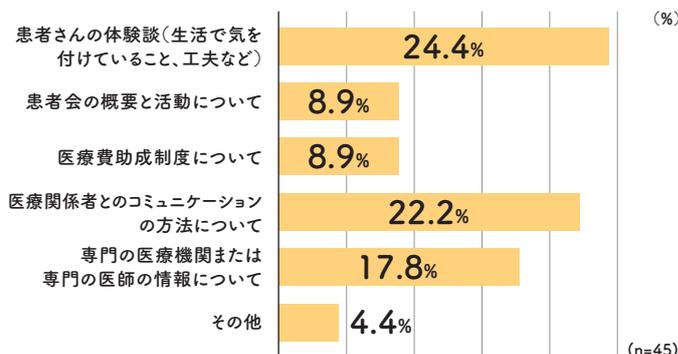
皆様の声に耳を傾け、今後もより良い講座を開催して参ります

肺高血圧症の理解を深めるために、今後どのようなことが知りたいですか(複数回答)



(n=45)

(肺高血圧症患者さんに対してお伺いします)今後の市民公開講座ではどのようなことが知りたいですか(複数回答)



(n=45)

調査主体: ヤンセンファーマ株式会社
 調査名: Web市民公開講座 視聴者アンケート
 調査方法: イベントページ上のオンライン調査(ヤンセンファーマ提供)
 調査期間: 2022年3月15日~4月17日
 調査対象: オンラインイベント参加者146名(肺動脈性肺高血圧症患者さんとそのご家族、その他の参加者含む)